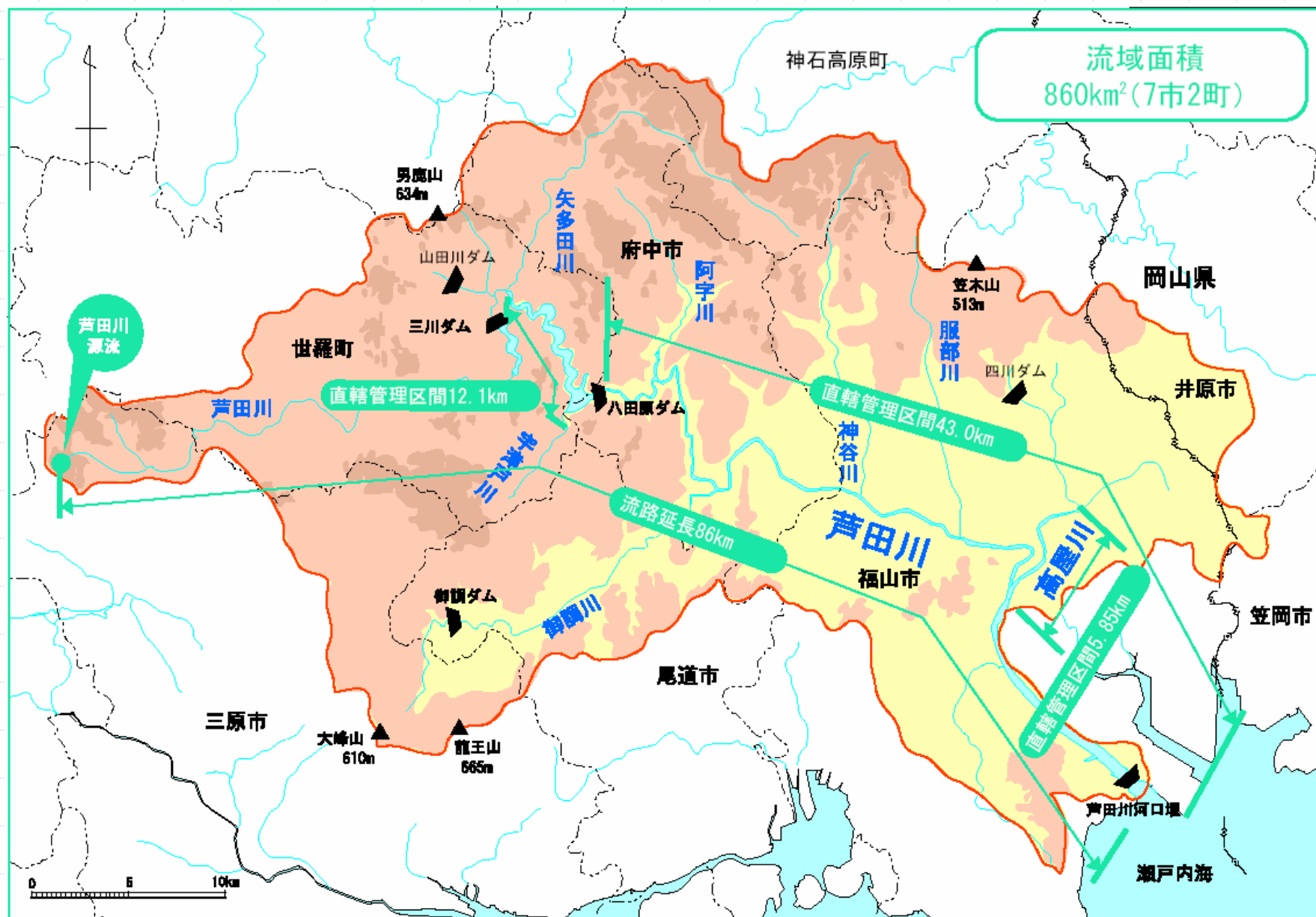


## 第2回 芦田川の今後を考える住民説明会

1. 芦田川河川整備計画の策定の流れ
2. 治水
3. 利水
4. 水環境(水質)
5. 河川環境

# I. 芦田川の流域概要



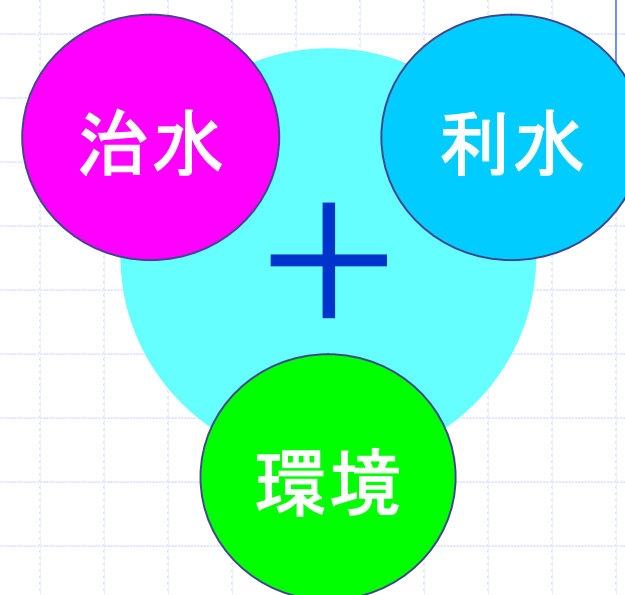
## Ⅱ. 河川整備計画とは

河川整備計画は、河川整備基本方針に基づき

今後概ね30年の河川整備の目標と具体的な河川整備の内容

を明らかにするため、学識経験者や流域住民の方々などの意見を反映させながら策定する計画です。

対象区間は、国の管理する区間(大臣管理区間)です。



### 河川整備計画の設定事項

1. 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

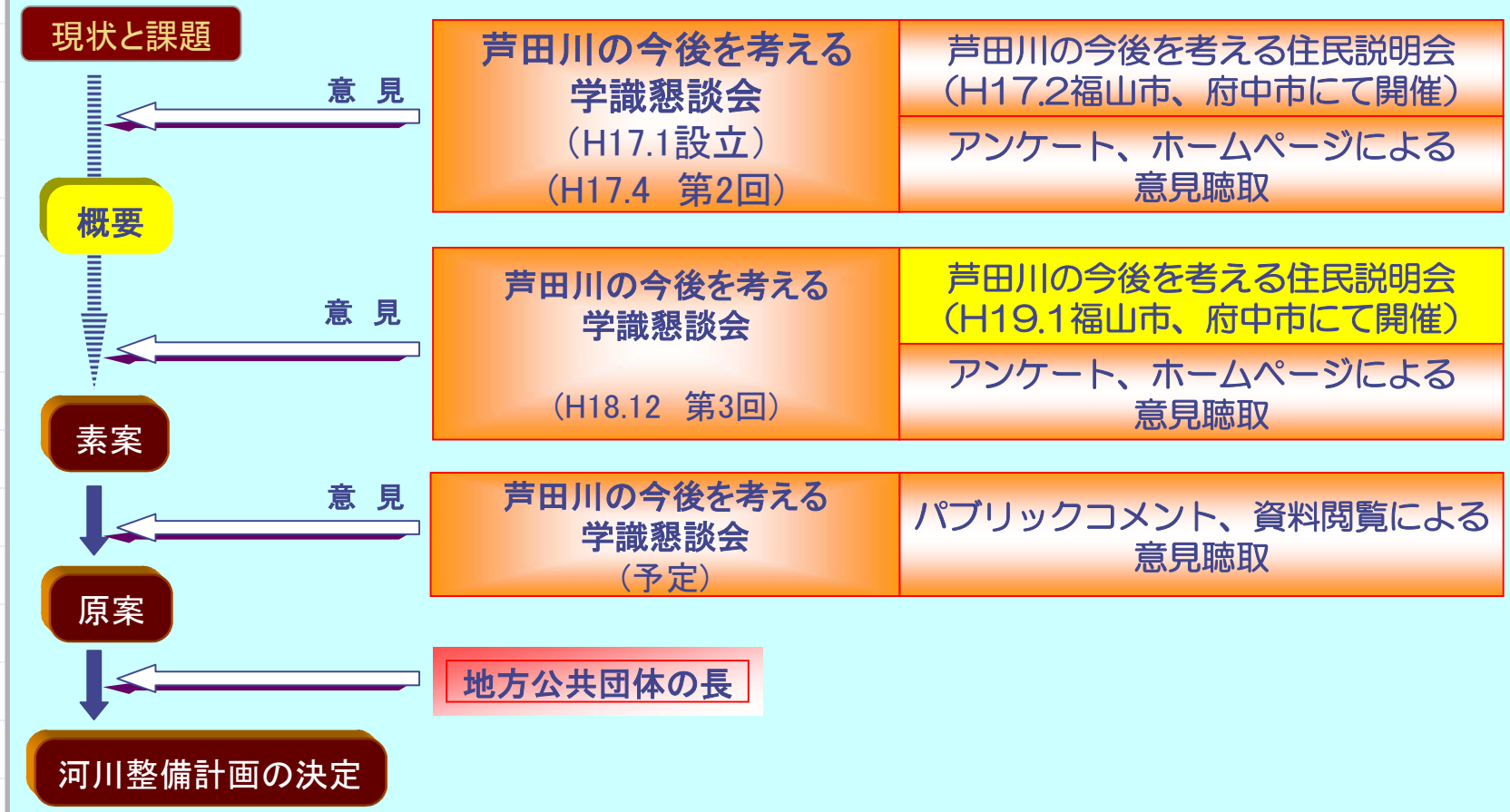
2. 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

3. 河川環境の整備と保全に関する事項

# Ⅲ. 芦田川河川整備計画の策定の流れ

H16.6 芦田川水系河川整備基本方針策定

## 芦田川水系河川整備計画の策定



## 2. 治水

1. 治水の課題
2. 治水の整備目標
3. 治水の整備内容
4. 治水の整備箇所

# 1. 治水の課題

平成10年10月洪水（台風10号）時の状況写真



前原橋付近の越水状況（府中市）



水防活動状況（府中市）



中津原の出水状況（福山市）



神島橋の出水状況（福山市）

◆近年（H10）でも洪水被害が発生

## 2. 治水の整備目標

7

近年被害のあった洪水(H10.10)を安全に流下させる

上流

(府中・目崎地区を含む)

- ・堀込区間
- ・無堤区間
- ・近年洪水で被害あり

下流

(福山市・府中市の市街地)

- ・築堤区間
- ・資産集中
- ・破堤した場合の被害甚大

上流の整備により  
危険度向上

早急な対策が必要！

今よりも安全な川づくり

H10.10洪水(戦後第2位)を  
目標として早急な整備が必要

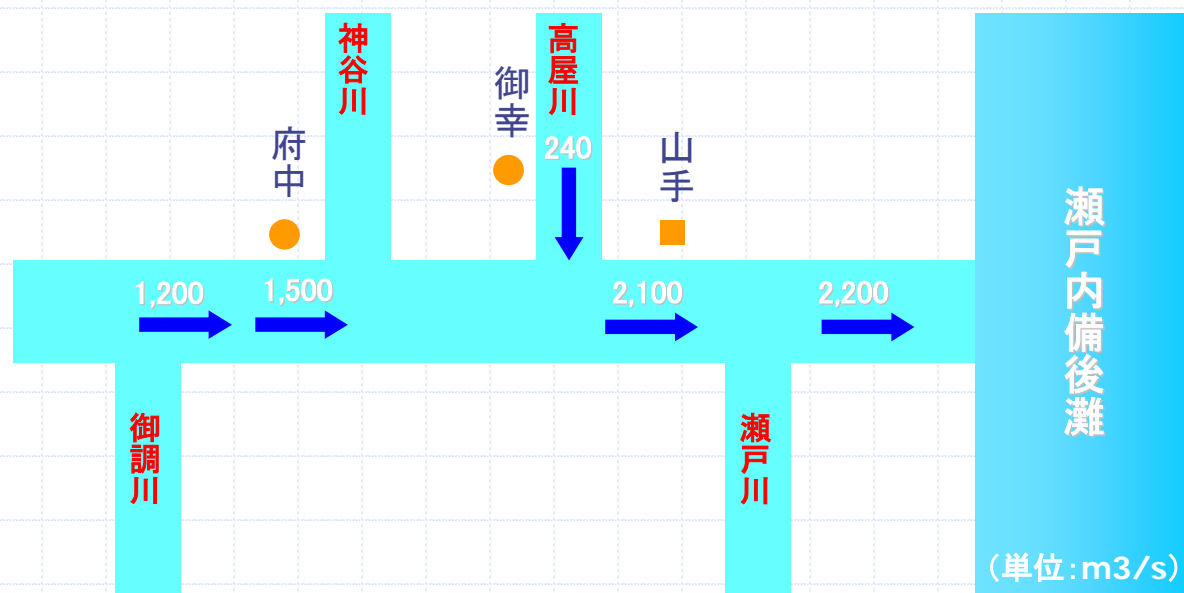
S20.9洪水(戦後最大)を  
安全に流すことを目標

## 2. 治水の整備目標

8

主要市街地は戦後に発生した洪水が安全に流下できる川づくりを目指します。

芦田川水系河川整備計画(案) 概ね30年の具体的な計画



芦田川整備目標流量配分図



### 3. 治水の整備内容

9

#### ◆ハード的な対策

- 河道整備(必要河積確保)
- 樹木伐採(維持)
- 堤防の安全性の確保対策 など

#### ◆ソフト的な対策

- ハザードマップの作成・配布等の支援
- 河川情報の提供
- 伝達体制及び警戒避難の支援 など

# 4. 治水の整備箇所

◆ 中州や河床の掘削を行い、目標流量を安全に流します。



- : 河道掘削等治水対策必要箇所
- : 樹木伐採等維持対策必要箇所

(整備イメージは現地の状況により変わります)

## 3. 利 水

1. 利水の課題
2. 利水対策の状況
3. 利水の整備目標
4. 利水対策

# 1. 利水の課題

平成6年渇水時の状況写真



河口湖の枯渇状況(福山市)



府中大橋下流の枯渇状況(府中市)



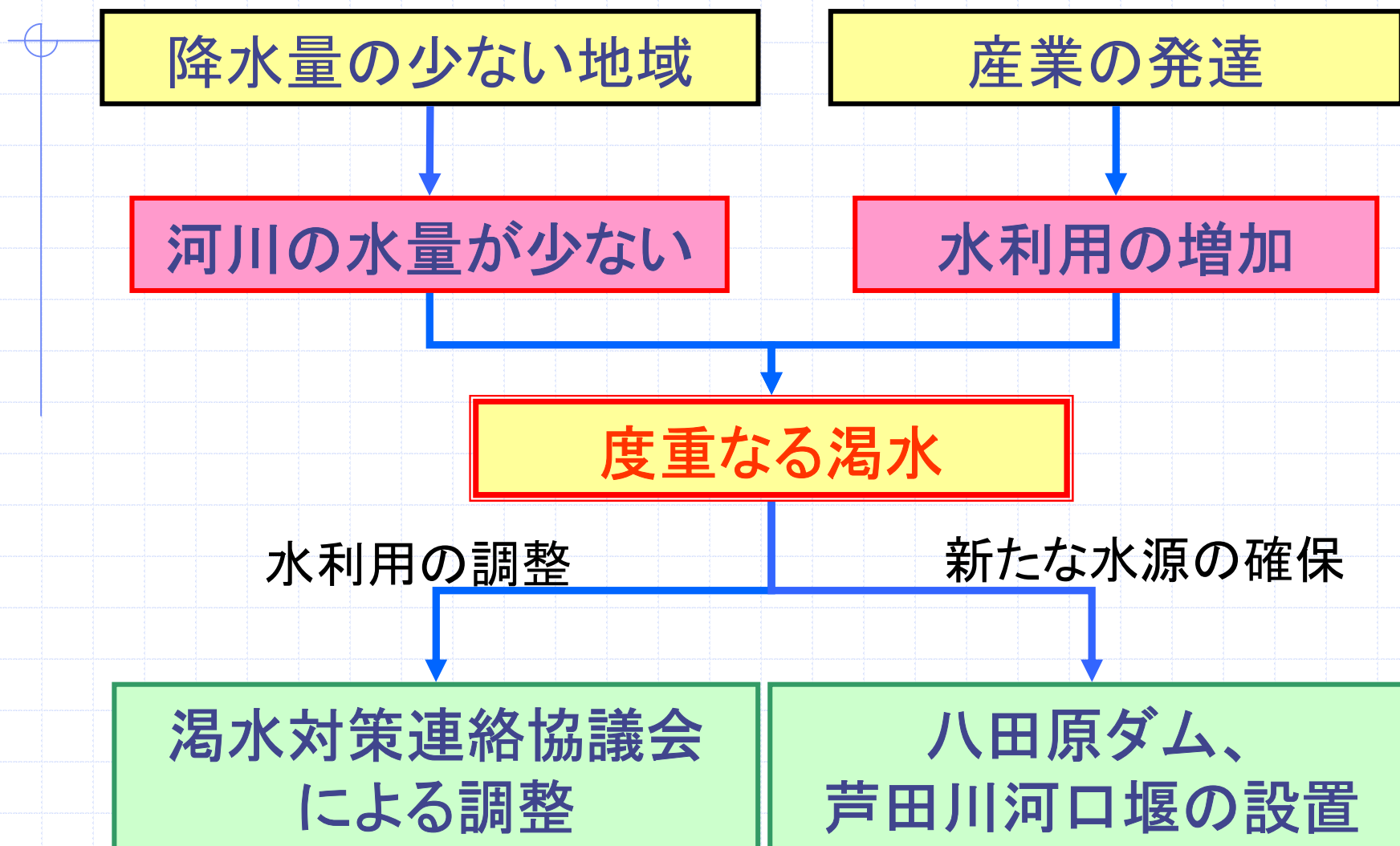
節水の呼びかけ



小学校でも水槽を設置

- ◆ 降雨量の少ない地域
- ◆ 水利用が多い

## 2. 利水対策の状況



### 3. 利水の整備目標

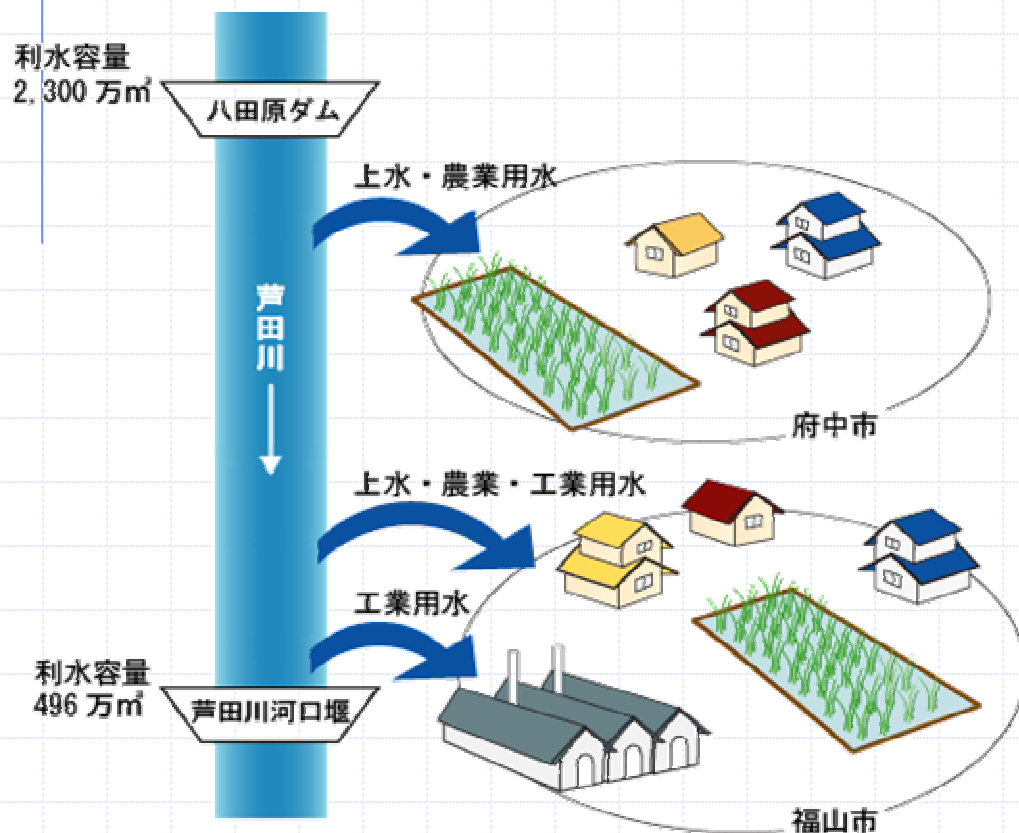
—ふるさとの豊かな自然と  
歴史をはぐくむ芦田川に—

八田原ダム・河口堰を適切に運用するとともに、  
関係機関と協力することにより、生活・産業等  
に必要な水を安定的に確保します。

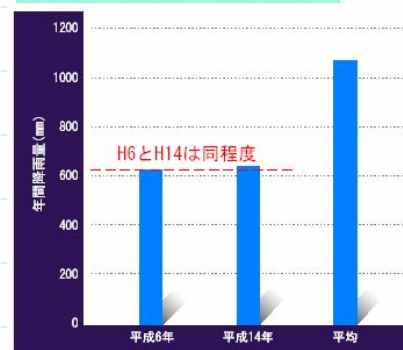
芦田川水系における流水の正常な機能を維持する  
ために必要な流量として、利水の現況、動植物  
の保護・漁業、景観、流水の清潔の保持等を考慮  
し、**山手地点で概ね $1.2\text{m}^3/\text{s}$** とします。

# 4. 利水対策

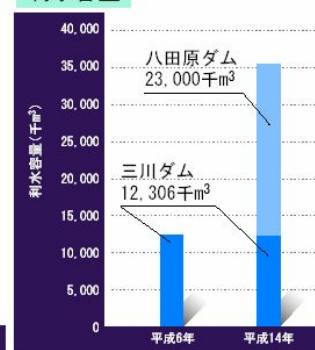
- ◆ 既存施設の活用
- ◆ 関係機関との水利用の調整
- ◆ 節水向上のための情報提供



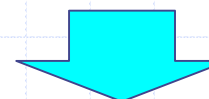
府中雨量観測所の年間降雨量



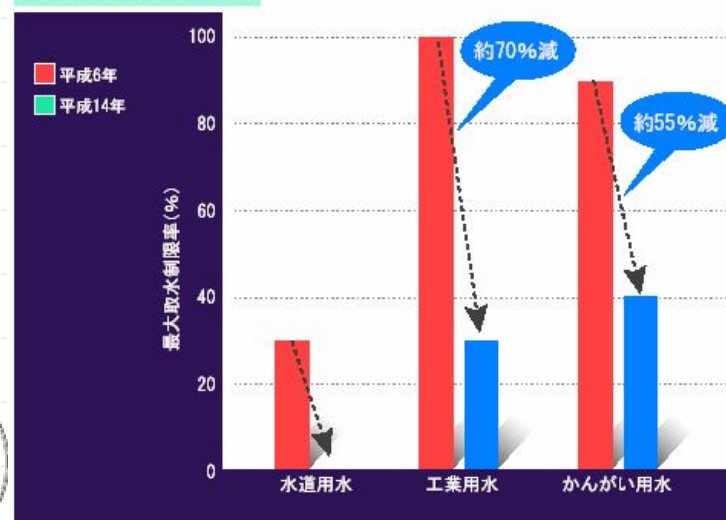
利水容量



※平均:平成5~14年の10年間の平均値



最大取水制限率



※平成6年渇水調整期間  
7月7日～翌年5月3日・300日間  
※平成14年渇水調整期間  
11月25日～翌年3月8日・104日間

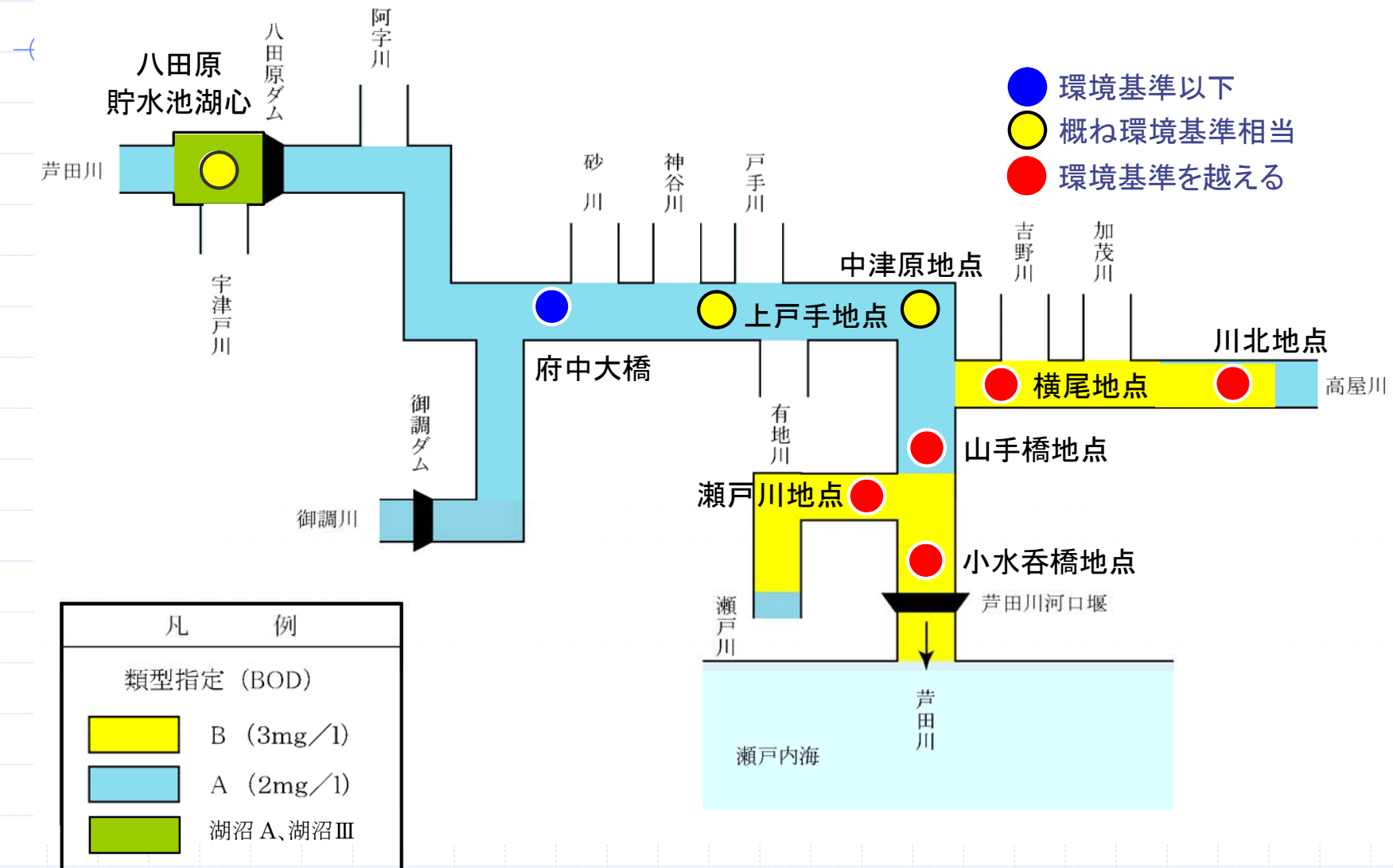
## 4. 水環境(水質)

1. 水環境の課題
2. 水環境の整備目標
3. 水環境の保全対策



# 1. 水環境の課題

下流部を中心に環境基準を越えている所があります

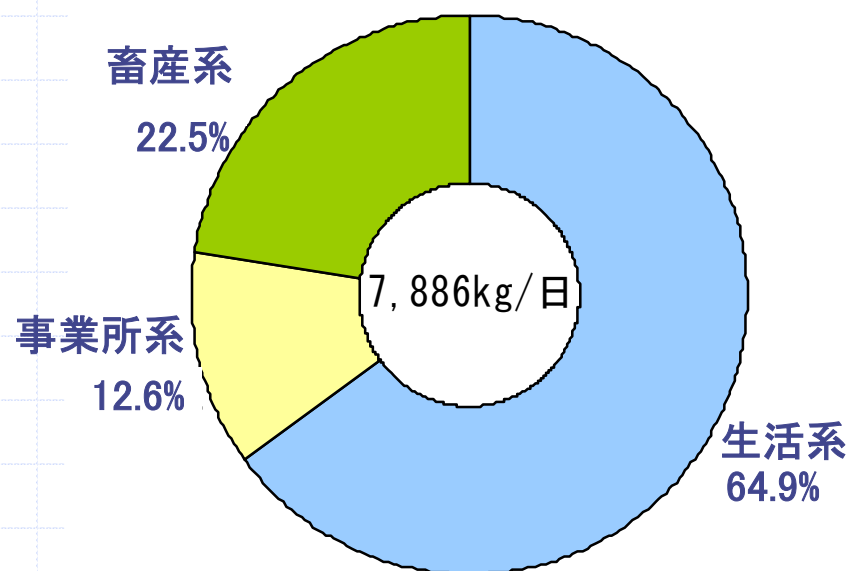


環境基準類型指定状況および水質環境基準達成状況

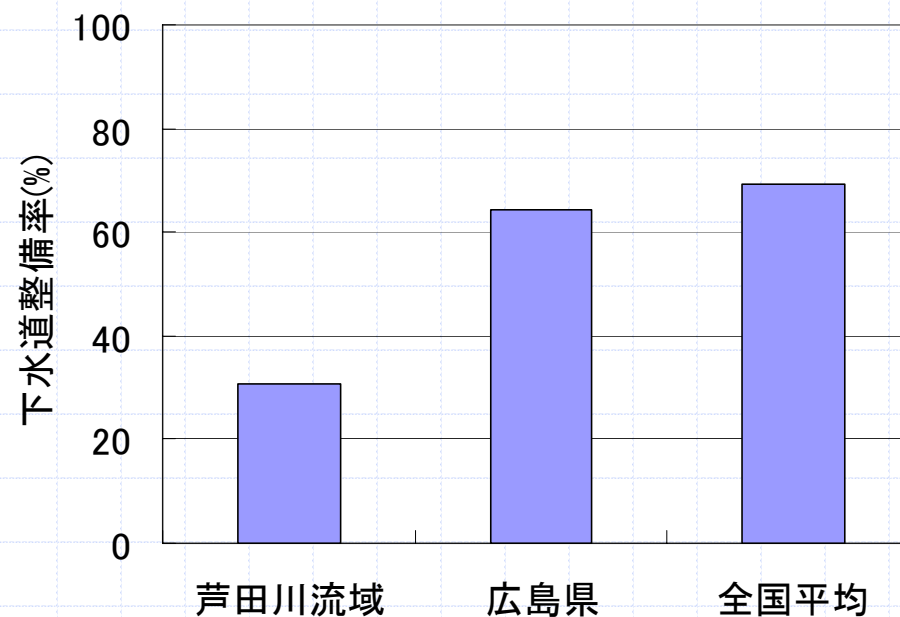
# 1. 水環境の課題

◆水質汚濁の要因としては、

- ・家庭から河川へ出る汚濁の量が多い
- ・下水道整備の立ち遅れ
- ・雨が少なく取水が多いため川の流量が少ない



中津原(芦田川)上流域における  
排出汚濁負荷量の割合  
(平成12年度)



下水道整備率(平成17年度末)

## 2. 水環境の整備目標

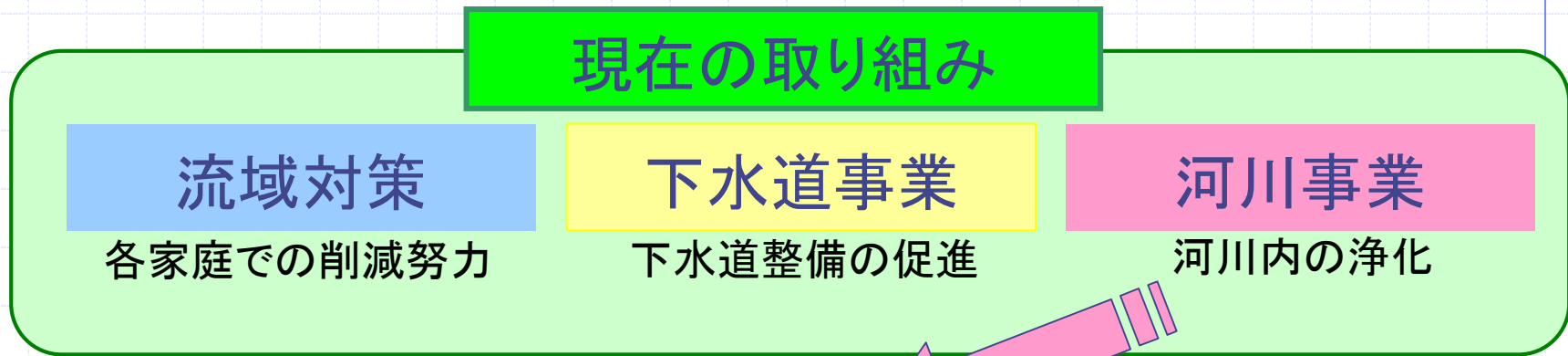
一人が集い、水にふれ、語りあう芦田川に—  
流域からの汚濁負荷を削減するとともに自然浄化機能を回復することにより、清浄な水質を確保します。

関係機関、地域住民等と連携して流入負荷削減を推進し、環境基準の早期達成を目指します。

また、自然浄化機能の回復などにより、水質の改善並びに、多様な生物が生息できる良好な水環境を目指します。

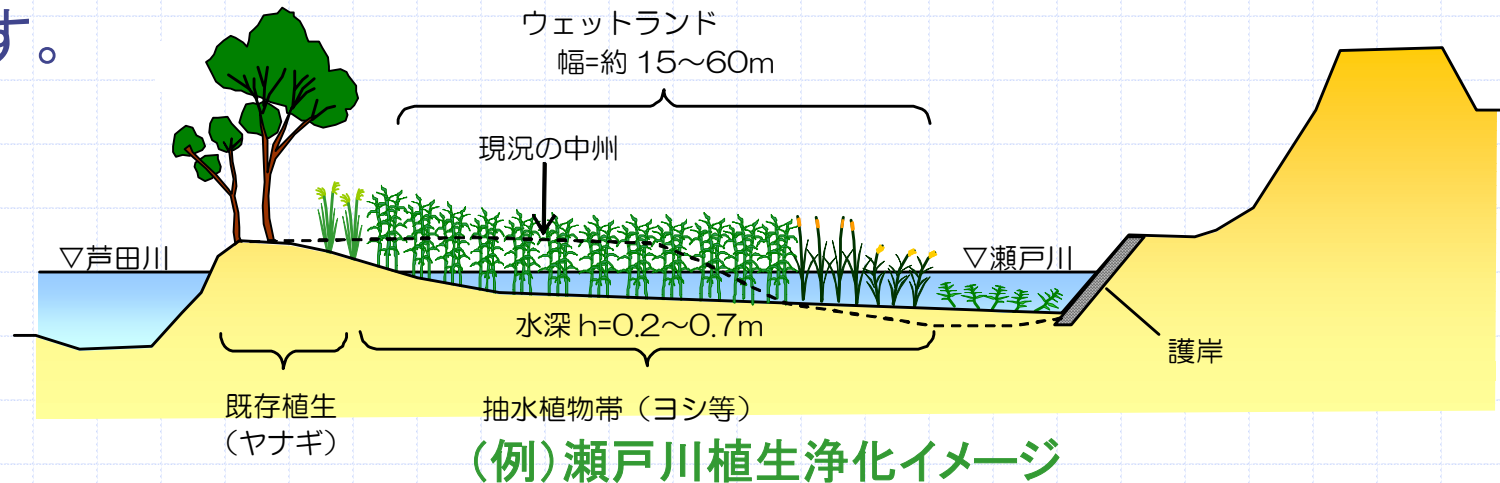
# 3. 水環境の保全対策

地域・関係機関と一体となった浄化の取り組みを継続して行きます。



## ● 河川事業

自然の浄化機能を高める整備を行い、持続的な河川内の浄化を行います。



# 5. 河川環境

1. 河川環境の現状
2. 河川環境の整備目標
3. 河川環境の保全対策

# 1. 河川環境の現状



環境区分図

# 1. 河川環境の現状

【河口堰湛水区間】 23



河口付近より上流を望む



湛水区間におけるレガッタ利用



ヒドリカモ



アオコの発生状況

- ◆アオコなどの水質対策が必要
- ◆水際の植物が少ない

# 1. 河川環境の現状

【下流区間】

24



水呑大橋付近から上流を望む



高水敷の日常的な利用



森脇橋付近の中州

- ◆水辺や高水敷へ近づき易くすることが求められています
- ◆外来の植物や樹木が茂り、川らしい景観が損なわれているところがあります



# 1. 河川環境の現状

【中流区間】

25



中流部の河川利用の様子



早瀬の連続する河道(府中新橋付近)



樹木などの繁茂(中須大橋付近)

- ◆水辺へ近づき難い
- ◆樹木が茂り、川らしい景観・環境が損なわれているところがあります
- ◆魚道のない堰などがあり、魚の移動の妨げになっています

# 1. 河川環境の現状

## 【上流・八田原ダム区間】

- ◆河佐峡やダム湖を利用したオートキャンプ場などがあり、広く利用されています。



八田原ダム下流付近の風景



芦田湖オートキャンプ場



夏、河佐峡は水浴で賑わう

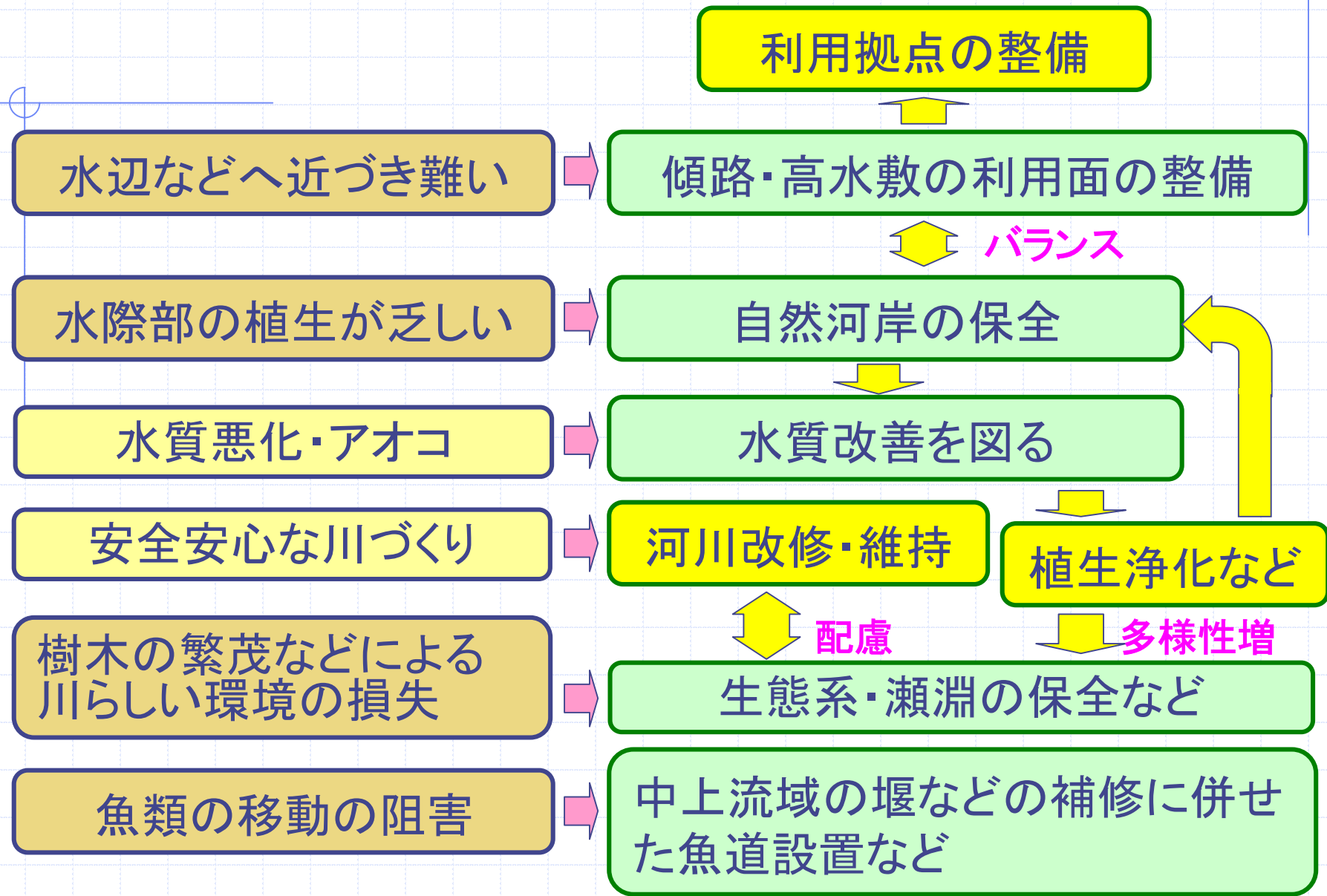
## 2. 河川環境の整備目標

—光あふれる備後の絆・ふるさとの豊かな自然  
と歴史をはぐくむ芦田川に—

利用しやすい河川空間を整備するとともに、  
河川らしい自然環境を創出します。

- ◆河川でなければ 果たせない機能の整備と豊かで潤いのある河川空間の創造
- ◆芦田川の自然環境の保全を図ります
- ◆整備された施設が有効に活用されるための仕組みづくり

# 3. 河川環境の保全対策



# 3. 河川環境の保全対策

地区名	整備メニュー
佐波地区	・水辺へ近づきやすくするための斜路等 ・高水敷整備 等
芦田川下流部	・水辺へ近づきやすくするための自然河岸帯整備による水質改善
郷分下流地区	・水辺へ近づきやすくするための斜路等
新市地区	・水辺へ近づきやすくするための斜路等の整備
八田原ダム	・水源地域ビジョンを支援する基盤整備等



整備拠点地区位置